

第 37 回 JSAF 外洋計測委員会 議事報告

開催日時：2026 年 1 月 21 日 20:00～21:10 Temas 会議

参加者：川合 紀行、荒川 海彦、角 晴彦、角 しのぶ、上阪 和功、高垣 昌和、高野 佳雄、八木 達郎、伊藤 勇（議事録作成）

欠席連絡者：三浦 信郎

1. ORC 証書発行料金について

ORC 証書発行費用について円安の影響を考慮して更新を行い、高垣氏が改定案を Teams にアップして検討を行い、2 月の会議にて決定することとする。

2. 合同委員会について

上阪氏より現時点での参加者数の報告があった。安全委員会から

外洋計測委員会の現在にいたる経緯、委員会に取り組みについて発表が必要であると、角氏より発言があった。その説明に続いて、料金の値上げについて、IRC、ORC 各レーティングについての説明を行う方向で、川合委員長と角氏で発表内容をまとめて、1 月末までに外洋計測委員会の資料をまとめる。

3. 2026 年 IRC 証書更新の際の案内について

高野氏より、レーティング証書の Note の意味と解釈について、RORC との確認の内容について質問があった。

角氏より、正しい値を申告することはオーナーの義務であり、艇の最新の情報を更新してレーティングに反映することによりレーティング証書の信頼性を保つというスタンスだとの説明があった。証書更新の際に、オーナーがセイルインベントリーの更新の有無の報告、新しくセイル計測を実施した場合はその報告すれば良いと判断し、セイルインプットシートの提出の必要はない判断する、と説明があった。協議ののち、実際にレースで使っている最大エリアのセイルを更新の際に申告してもらうこととし、2026 年の証書更新が始まっており、年度途中の案内の変更となるので、更新ページに記載する文および案内文書を角氏が作成する。

内容が更新されているにも関わらず、Note の日付が更新されていない場合は随時更新を行うこととする。

4. その他

委員会作業費に関して、令和 8 年度より更新を行うこととするので、各自担当箇所を確認することとする。

・次回委員会会議予定

2026 年 2 月 18 日（水） 20 時～ Teams 開催予定とする。

以上